

アメリカ留学は、授業は厳しくても充実した 10 か月

あいざと
東里将英 (NI-Youth)

NI-Youth に所属している、成城大学 4 年の東里将英です。去年、大学の交換留学制度を利用して、アメリカのパデュー大学で 10 ヶ月間勉強をしてきました。

アメリカに行って印象深かったことが 3 つあります。

まず最初に驚いたことは、アメリカにはアメリカ人だけではなく、いろいろな国の人がいることでした。日本で暮らしていると、外国の人を見る機会はそう多くないです。けれども、アメリカには中国人、韓国人、インド人などいろいろな人がいます。僕もまさかナイジェリアの人と友達になれるとは思っていませんでした。

次に、授業に対してみんな真面目であること。日本の大学生は、授業に遅刻してきたり、中にはサボる人もいます。正直、僕もそうでした。けれどもあちらの学生はそんなことはなく、みんな真剣に授業に取り組んでいました。宿題やエッセイ、プレゼン、テストなども頻繁にだされ、僕も大変でした。

最後に、これはほんとに助かったのですが、お酒がとにかく安いこと。ビールもジョッキで 75 円か 100 円ぐらいです。21 才（アメリカでは 21 からお酒が飲めます）という最高のタイミングで留学ができてよかったと思います。

この留学は僕の人生で 1 番楽しくて充実した 10 ヶ月でした。語学力を伸ばすということだけではなく、日本ではできないような貴重な経験をすることができました。



ボストンの地下鉄で。左から 2 番めが本人

